

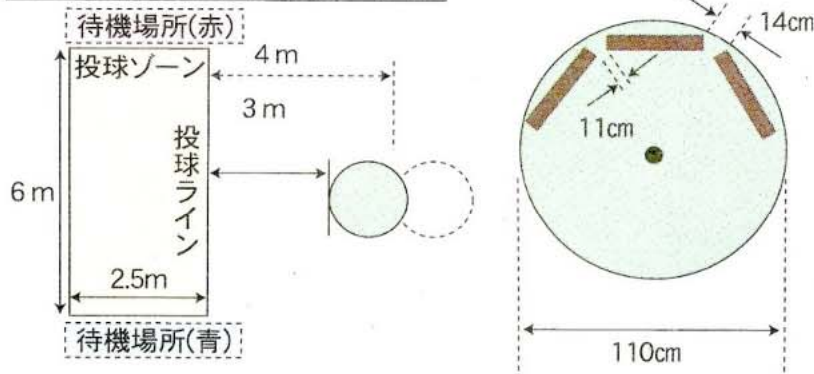


【中学部 Tスロー 試合規定】

1. ボッチャボール(赤6個、青6個、ターゲットボール白1個 マイボール制とする)
2. 専用ターゲットサークル(直径110cmの人工芝製、ボール止めとして4×4×30cmの角材を内側11cm、外側14cmの間隔で3本取り付ける)
3. ターゲットボールをターゲットサークルの中央にテープで固定する。競技中にずれてしまった場合は、中央に戻す。

用具

コート、ターゲットサークル



本県では、平成5年に千葉県養護学校体育連盟が発足し、県全体での特別支援学校におけるスポーツ大会が開催されることになった。この大会は、県総合スポーツセンターを会場に、中学部・高等部別にソフトボール・サッカー・キックベースボール・ボッチャ等の競技で実施している。

特に、中学部で実施する「Tスロー」と呼ぶ競技は、当時の県立千葉養護学校の若手教員が考案した本県独自のスポーツである。写真。ボッチャの用具を使用するが、知的障害のある生徒にとっ

中学部で独自種目「Tスロー」

てルールがボッチャより分かりやすいため、中学部でTスローを経験することで、ボッチャへよりスムーズに移行できるようになっている。

本県の特別支援学校スポーツ大会のボッチャ競技やTスロー競技へは、障害種別を超えて出場することができる。また、スポーツ大会の他に毎年12月には、千葉県特別支援学校中学部及び高等部駅伝大会を開催している。

このように、本県では、特別支援学校体育連盟が中心になりスポーツ活動の推進に取り組んでいる。県立矢切特別支

援学校(知的)では、8月24日にリオパラリンピッククボッチャ団体銀メダル獲得に貢献した廣瀬隆喜選手(県立袖ヶ浦特別支援学校卒)を招いて「ボッチャ教室」を開催した。これはスポーツ庁が推進する「地域における障害者スポーツの普及」にもつながる取り組みである。障害者スポーツの理解・推進が真の共生社会の実現に向けた一助になることを期待したい。

(柳野敬夫・千葉県立湖北特別支援学校校長)